

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表 令和 2 年 4 月 20 日

(評価回答数:14名)

事業所名: いっぱい

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	4	・その日のご利用者に合わせパーテーション、ベンチ等でスペースを分け確保しています。	・新たに個室等を設置し、ご利用者の状況に合わせ活用しています。 ・2階スペースの効果的活用を検討し、過ごし易い空間を確保出来るよう改善して参ります。
	2 職員の配置数は適切であるか	9	0	・パートナーのボランティア様の参加を活用しています。	・職員の配置数は適切に行っています。児童指導員の層を厚くすると共に有資格者等の増強を進めます。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	5	・手すり、スロープ等を設けて改善しています。	・段差の解消、階段等の安全性強化を可能な限り順次改善していきます。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	2	・職員会議等での参画と周知を行っています。	・非常勤職を含め全職員参画での業務改善の話合いの場を月1回は定期的に設け、積極的な実施を図ります。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	1	4	・年2回の保護者様面談を通してご意向、要望等の聞き取りと話し合いを意欲的に行っています。	・保護者様向け評価、要望等のアンケート調査を適時行い、業務改善に役立ててまいります。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	5	・自己評価結果の法人ホームページへの公開を行っています。	・新たに放課後等デイサービス単独のホームページを開設し評価結果等の公開を広く行います。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	3		・積極的に第三者評価の導入を検討して参ります。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	11	0	・昨年度、研修機会を積極的に増やし、受講数を増強してきました。	・常勤職員と非常勤職員の研修機会を増やし、全体としての資質向上を図って参ります。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	0	・定期的な保護者様面談を通してニーズや課題の把握を行い、サービス計画に反映しています。	・保護者様面談に全保護者様が参画頂けるよう工夫し、参加の促進とニーズ、課題の把握を図り、一層のサービス計画への反映を進めます。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	1	・アセスメント手法の研修等への受講を図っています。	・事業単位1, 2で統一したアセスメント手法を用いることをご利用者への適応行動の対応力を高めまします。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	0	・常勤職中心で立案を行っています。	・非常勤職を含めた提案を加味し、一体的に立案できる体制作りを行います。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	0	・夫々のご利用者に合わせ日々の活動を決めています。 ・主な年間計画は決めています。	・日々のプログラムと年間等長期の計画プログラムを体系化し、常に見直し更新出来る体制を作ります。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	8	1	・長期休暇、土曜日利用等に応じた課題対応をしています。	・平日、土曜日、長期休暇等夫々の課題に応じた支援プログラムを整えてまいります。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	12	0	・日々ご利用者の状況に応じた活動を個別に展開しています。	・ご利用者の状況に応じた個別、集団活動プログラムを蓄積、整備し、いつでも活用出来るよう体系化します。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	13	0	・毎日、常勤職で打合せしその後、非常勤職に伝達、周知しています。	・現状を維持すると共に、非常勤職を交えた話し合いの時間を多く設けるように改善していきます。

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	0	・振り返り、気付いた点等の伝達、周知を日報等で全員に届くようにしています。	・日報以外のより良い高い共有方法を決め改善していきます。特に、非常勤職への確実な支援情報の共有を図る仕組みを検討し実行に移します。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	11	0	・日々の支援記録は確実に毎日実行されています。	・日々の支援記録の検証・精査の方法を検討し、その後の改善に繋げる仕組みを考えて参ります。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	1	1	・児発管が中心となり定期的に行っています。	・児発管の定期的な計画見直しと管理者を含めた話し合いを行い、直接指導員まで周知する仕組み作りを行います。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	1	2	・管理者、児発管が中心となり支援を行っています。	・ガイドライン総則を全員に配る等して、全職員が理解し支援に活かせるように指導して参ります。
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	10	0	・児発管と共に、ご利用者に熟知した指導員が出席しています。	・現状を維持しながら、そのご利用者に最も精通した職員が参画して参ります。
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	12	0	・学校との情報共有は常に全員が意識し活動しています。送迎時等担任の先生等と当日の情報交換を行い支援に反映しています。	・現状の活動を維持しながら、更に精度を高めて参ります。必要に応じ情報共有の幅を広げるべく学校との連携強化を図ります。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	7	・保護者様に連絡するためのファイル整備等マニュアルを作り、迅速な対応に務めています。	・保護者様と連携しながら最低限必要な主治医等と連絡体制を整備して参ります。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	10	・保護者面談時等にて保護者者と情報共有しています。	・今後、保護者様の了解を頂いた上で、可能な範囲で就学前に利用していた保育所、幼稚園等との連携を取って参ります。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	3	・要請があった時は丁寧に対応しています。	・卒後のご利用者の就労、生活介護等の利用機会を考慮し、関係支援機関との連携の場を広げると共に、情報共有を図って参ります。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	5	・児発管、管理者等が中心となり、専門機関との連携を行っています。	・事業所として専門機関との連携強化は不可欠です。今後、組織としての連携強化の仕組み作りを進めます。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	12	・外出、お散歩時等に他の子ども達と接触する機会があります。	・今後、必要に応じ地域の児童クラブ、児童館等との交流も検討して参りたいと思います。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3	6	・管理者、児発管等が中心となり積極的に参加しています。	・自立支援協議会等との連携は不可欠です。今後とも参加、連携を強化して参ります。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	12	0	・保護者様とは日常積極的に情報交換し、状況や課題についての共通理解を深めています。	・毎日の送迎時、電話、保護者面談時等、あらゆる機会を使い保護者様との情報交換を更に深め参ります。事業所として最も重要視している課題の一つです。
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	3	・保護者様とは個別に話し合いを持って対応力の向上、情報交換等の支援を行っています。	・ご利用者のご家族保護者の支援は事業所としての基本方針です。保護者様との課題等の共有と対応力向上の支援は更に強化して参ります。
30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	0	・ご利用契約時、保護者面談時等での説明を行っています。	・保護者の方々が必要な時に何時でも閲覧できるオープンなマニュアル等情報閲覧とネットワーク上での開示方法等の構築を図ってまいります。	

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	0	・保護者様よりの相談には積極的に対応し、必要な助言と支援を行っています。	・相談への積極対応、支援は継続し更に強化して参ります。他の専門機関等の連携も含め、支援の輪を広げて参ります。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	2	・茶話会等、保護者様同士の連携の場の提供を行っています。	・従来の不定期開催から定期的な開催へと保護者様同士の交流の場、機会作りを増やして参ります。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10	0	・ご利用者、保護者様からの苦情については苦情受付対応窓口、体制を作り迅速に対応、解決に努めています。	・今後とも継続して、苦情対応等についての体制を明確に、迅速な対応と解決に誠意をもって努めてまいります。
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	14	0	・毎月の「いっぱい通信」、毎日のブログによる活動状況情報発信、日々の連絡帳等による連絡等を欠かさず発信しています。	・保護者様への情報発信、伝達は今後とも発信手段、方法等を改善しながら強化して参ります。放課後等デイサービス事業、単独のホームページ開設も視野に入れています。
	35 個人情報に十分注意しているか	13	0	・日々、業務上での遵守確認、周知徹底を行っています。	・個人情報管理についての周知徹底を更に継続し遵守して参ります。
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	10	0	・障がいのあるご利用者、保護者との意思の疎通、情報伝達・共有には特に配慮をしています。	・今後とも個別に配慮しながら、情報共有、交換等支援を進めて参ります。
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	12	・数年前には音楽演奏会等不定期に行っていたが。	・地域住民との関係作りの具体化は事業所としての課題です。地域活動への参加を常に意識し、地域ケアプラザ、地区社協、自治会、障がい児保護者会等、地域団体との関係作りを行って参ります。
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	1	・各種対応マニュアルの整備は出来ているが、保護者様等への周知は徹底されていない。	・各種マニュアルの整備を再度行うと共に、職員への周知徹底、保護者様への開示、周知の方法等の改善検討と実施を急ぎます。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	14	0	・毎月、ご利用者参加の避難訓練を実施し、効果を上げています。	・事業所内訓練、屋外への避難訓練、抜き打ち訓練等を今後とも毎月継続し、有事の際に役立つレベルまで習熟し高めて参ります。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	2	・常勤職員の研修参加は行えている。	・非常勤職員等の研修機会を作ると共に、日常でのOJT指導を継続していきます。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	3	・組織的な決定と、保護者様への事前説明等は不足している。	・身体拘束を行うに際しての、事業所としての組織的決定と、保護者様への事前説明及び支援サービス計画への記載等を改めて見直し実施する。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8	2	・食物アレルギーのあるご利用者保護者との連携を行っている。・エビペンを携帯しているご利用者については食事、おやつ時に他のご利用者と離し、掃除機をかけて食べ物が落ちていないか等に気を付けています。	・今後とも継続し保護者様との情報共有を行うと共に、職員への周知を徹底して参ります。 ・学校等で用意されている食物アレルギー対応マニュアルを有効に活用し連携して参ります。
43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	12	0	・事故発生時のヒヤリハット報告への記載と対策対応の即時実施を徹底しています。	・継続するだけでなく、ヒヤリハット管理の一段の強化を行います。 ・事業単位ごとに発生した事故情報、対策対応情報の共有化を継続し再発防止に役立てて参ります。	